

飯山市ふるさと館は、飯山の自然・歴史・文化等郷土に関する資料を「収集・保管・展示」し、広く市民の学習や研究に資するとともに、市内外へふるさと飯山の情報を発信することを目的として設置された社会教育施設です。開館12年目を迎え、さらなる活動充実を図るため以下の事業をすすめてまいります。

1. ふるさと学習の推進

1) 学校の教科にあわせた学習支援・市民の郷土学習の推進

小学校の学習教科にあわせた展示や体験メニューを用意し、ふるさと学習の推進に努めます。

(体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火起こしなど)

また、ふるさと館まで出掛けられない小中学校や施設などに対しては実物資料を持参して出張講座を行います。道具のみの貸し出しも可能です。

2) 市外の学校見学・体験対応

伝統文化を体験できる施設としてさらに情報提供し、社会見学や体験学習に訪れていただくように推進します。

3) 市民の方々をはじめとする飯山を知る情報の提供

飯山の自然、歴史、文化を学ぶための講座や講演会・現地学習を開催します。また、郷土の調査・研究に対してのリファレンスや資料提供を進めます。

4) 伝統文化の保存・活用

市内の子どもたちを中心に、地域に伝わる伝統文化に親しみ、未来に伝えていくことを目的として、季節ごとのふるさとに伝わる郷土食や伝統技術などの体験教室・講座を開催します。

2. 情報発信

1) 企画展の開催

ふるさと飯山に関わる人々の営みについて、市内の文化遺産をテーマ別に取り上げて展示し、市内外に向けて飯山の個性を紹介していきます。

2) ホームページ・広報誌の活用

ホームページや広報誌を活用し、また報道機関を通して、幅広く情報発信を行います。

3) 資料の公開

飯山の自然・歴史・文化を情報発信するために、資料の収集、調査・研究を経て公開を積極的に推進します。

4) 書籍類の発刊

ふるさと学習をまとめた友の会会報「奥信濃文化」や調査・研究の報告書などの発刊を通して飯山の情報を発信します。

3. ふるさと館友の会の充実

市内文化財の見学や文化施設の視察、調査・研究活動などさまざまな活動を通して、ふるさと飯山の自然・歴史・文化を学びながらふるさと館の運営活動を会員とともに充実させていきます。

4. 資料の収集・保存

貴重な市内の文化遺産資料を散逸させないように、市内資料を積極的に収集・保存します。